

入札参加者の皆さんへ

落札対象者が2以上の場合のくじによる落札者決定について

落札となるべき同価格の入札をした者が2以上であるときは、次の方法により落札者を決定します。

- (1) 名称の五十音順に、くじ対象者に1、2、3、・・・と1から順にくじ抽選対象番号を割り当てる。ただし、末尾の番号は0とする。
- (2) 立会人がくじ棒を引く。
- (3) 同価格の入札書に記載された任意のくじ番号と、立会人が引いたくじ棒の数字を全て加算し、くじ番号合計値とする。
- (4) くじ番号合計値をくじ対象者数で割ったときの余りの値と、くじ抽選対象番号が合致した者を落札者とする。

〈計算例〉

※A～Fの5者のうち、A、C、D、Fの4者が落札となるべき同価格（3桁の任意の数字・名簿順は下表のとおり）で、立会人が引いたくじ棒の数字を4、7とする。

名簿順	入札額	くじ抽選対象番号	3桁の数字
A	5,000,000	1	1 2 3
B	5,200,000		4 0 0
C	5,000,000	2	0 0 5
D	5,000,000	3	9 9 9
E	5,050,000		4 5 6
F	5,000,000	0	7 7 7

$((1\ 2\ 3 + 0\ 0\ 5 + 9\ 9\ 9 + 7\ 7\ 7) + (4 + 7)) \div 4 = 4\ 7\ 8$  余り「3」

よって、くじ抽選対象番号「3」のDが落札者となる。